



PRESS RELEASE

令和 7 年 6 月 17 日

地域格差を超えた LGBT ユース支援にメタバースが有効であることを世界初実証

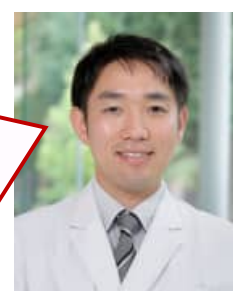
◆発表のポイント

- ・ LGBT のユース（子ども・若者）に悩みを相談できる場所や機会をメタバースで 1 年間提供
- ・ 現実空間と比べ、自己表現や対人自信感が有意に高いことを証明
- ・ 世界初となる LGBT ユース専用メタバース支援グループの有効性を検証

LGBT ユースに関する調査によれば、91.6%が保護者にカミングアウトできておらず、学校や家庭での悩みを打ち明けることが難しいという実態が明らかとなっており、実に 48%が自殺を考えたことがあるとの報告があります¹⁾。このような深刻な課題に対し、岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）医療情報化診療支援技術開発講座の長谷井嬢教授（整形外科）は、メタバースを活用して LGBT ユースの支援ができないかと考案し、一般社団法人「にじーず」²⁾と協力し、2024 年 1 月よりメタバースを活用した支援グループを開始しました。今回、1 年間の活動期間の解析を行い、参加者がアバターを通じて自分の望む性別を自由に表現でき、高い満足度と心理的違和感の低減を実感していることを明らかにしました。また、自己表現や心理的安全性、アクセシビリティの評価が現実空間より有意に高く、特に現実世界の対人関係の自信が低い若者ほどメタバース空間での自信向上が顕著であることがわかりました。本研究成果はメタバース分野で世界をリードする査読付き国際学術誌『*Journal of Metaverse*』に掲載され、LGBT ユースの心理支援に新たな可能性を示しています。

◆研究者からのひとこと

私の専門は骨軟部腫瘍なのですが、小児・若年成人に多い希少がんの患者さんたちの孤立・孤独を緩和するために、メタバースを活用した交流機会の提供を行ってきました。LGBT のユースたちが抱えている孤独感には、希少がんの患者さんとの共通点を感じ、医師としてこの問題にどのように貢献できるかを模索し、活動を進めてきました。この 1 年の活動の結果、メタバースが LGBT のユースにとって重要な心理的安全の場となることが確認され、自己肯定感や孤独感の軽減につながっている事も明らかとなりました。LGBT ユースへのメタバース支援の有効性を証明した初めての報告になります。支援グループへのアクセスが困難な地域の方や、自分の性的指向を周囲に伝えられない方々にとって、メタバースは大きな可能性を持っており、国内だけでなく、世界的な支援の輪につながることを祈っています。



長谷井教授



PRESS RELEASE

■発表内容

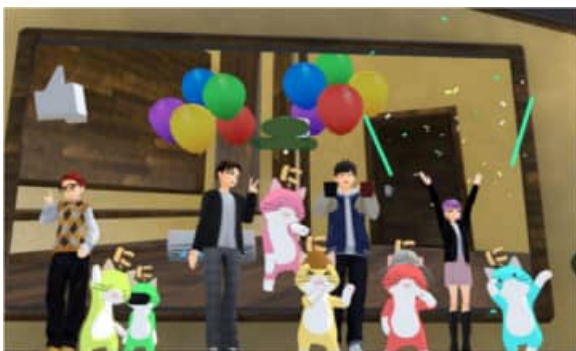
特に都市部を除く地方エリアでは、LGBT ユースを支援する施設や団体が不足しており、アクセスが難しいという課題があります。また、実際の交流会への参加には精神的なハードルが高く、全てのユースを孤独から救うのは容易ではありません。一方で、デジタルネイティブ世代では、オンライン上での交流が日常となっており、このような背景から、リアルな場での支援が難しいユースに対して、メタバースを利用した新しい形の支援を考え、一般社団法人「にじーず」と協力し、活動を行ってきました。この革新的な支援方法の効果を科学的に検証するため、2024 年 1 月から 1 年間にわたり、メタバースプラットフォーム「cluster」上で計 21 回の自助会を開催し、セッション後のアンケート調査により、14～23 歳の 53 人から回答を得ました。

参加者の 79.2%が自認する性別に合致したアバターを選択し、自由な自己表現に高い満足度を示しました。特に、現実世界で対人交流に自信がない参加者ほど、メタバース内で顕著な自信度向上を示す傾向があり、「メタバースでは本当の自分として受け入れられていると感じた」という声が多く寄せられました。

特筆すべきは、対面・オンラインを含めて、初めて自助会に参加した方の半数が 16 歳以下という若年層であったことです。これは、保護者へのカミングアウトを躊躇する若者や、地方在住で物理的アクセスが困難な若者にとって、メタバースが貴重な支援の入り口となっていることを示しています。安全性、自己表現、アクセシビリティのすべての評価項目で現実世界を上回る結果が得られ、73.6%が「真の自分として受け入れられる場所」としてメタバースを選択しました。

■社会的な意義

本研究は、地方の LGBT ユースが直面する孤立の問題に対し、デジタル技術を活用した実効性のある解決策を提示した世界初の成果です。この研究成果が国際学術誌「*Journal of Metaverse*」に掲載されたことで、日本の地方都市から始まったこの取り組みが、世界中の同様の課題を抱える地域にも波及することを期待しています。国や文化の違いを超えて、すべての LGBT ユースが安心して自分らしく生きられる社会の実現に向けて、メタバース支援という新たな選択肢が世界各地で広がっていくことを心から願っています。



自助会の様子

■研究資金

本研究は、公益財団法人 橋本財団 2023 年度 福祉助成 (FY2023)、こども家庭庁 令和 5 年度 NPO 等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業国庫補助、公益財団法人三菱財団 社会福祉事業・研究助成 (No. 202430037) の支援を受けて実施しました。



PRESS RELEASE

■論文情報

論文名 : Metaverse Support Groups for LGBTQ+ Youth: An Observational Study on Safety, Self-Expression, and Early Intervention

掲載紙 : *Journal of Metaverse*

著者 : Joe Hasei, Yosuke Matsumoto, Hiroki Kawai, Yuko Okahisa, Manabu Takaki, Toshifumi Ozaki

DOI : 10.57019/jmv.1639701

URL : <https://dergipark.org.tr/en/pub/jmv/issue/91863/1639701>

■補足・用語説明

1) 認定 NPO 法人 ReBit : 「LGBT 子ども・若者調査 2022」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000031.000047512.html>

2) 参加希望者は一般社団法人「にじーず」までご連絡ください。

にじーず公式 web site: <https://24zzz-lgbt.com/> , (メール) 24zzzmail@gmail.com

<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域

医療情報化診療支援技術開発講座

教授（特任） 長谷井 嬢

（電話番号）086-235-7273



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。